





この動画では、

大学の授業方法、特に令和5年度より導入される遠隔授業について説明します。

# 1. 授業の実施形態

・ 対面

**琉球大学（通学制）**

・ 遠隔

— 同時双方向型

— オンデマンド型

**令和5年度より実施**

本学では、各学期の授業を15回、試験を1回とする学年暦により、授業を実施しています。

本学は、教室で教員と学生が対面して講義等を実施する、対面授業を前提としている通学制の大学です。

なお、令和5年度より、各学部・研究科が「対面授業に相当する教育効果が得られる」と認めた科目は、ビデオ会議システム等を活用した遠隔授業を実施します。

# 対面で実施

---



大学の教室などで教員と学生が  
対面して実施

本学の基本となる対面で実施する対面授業についてご説明します。

対面授業は、大学の教室などで教員と学生が対面して、行う授業です。

## 遠隔で実施（同時双方向型・オンデマンド型）



### 同時双方向型

ビデオ会議システムを活用して、決まった曜日時限に授業を実施する方法

### オンデマンド型

動画配信サービスやwebclass等にアップロードされた講義動画や音声ファイル等により学習する方法

次に遠隔で実施する遠隔授業についてご説明します。

遠隔授業、オンライン授業は、ZoomやMicrosoft Teamsなどのビデオ会議システムを活用し、決まった曜日時限に実施する「同時双方向型」と

動画配信サービスやWebclassなどにアップロードされた講義動画や音声ファイル、講義資料などを視聴または閲覧し学習する「オンデマンド型」があります。

# 対面と遠隔の併用で実施



対面授業



遠隔授業

また、授業科目によっては、15回実施する授業のうち、対面授業と遠隔授業を組み合わせる場合があります。

## 2. 授業の実施方法の確認

The screenshot shows a syllabus page for a course. A red arrow points from the '授業内容与方法' (Classroom Content and Method) section to a larger callout box on the right. Another red arrow points from the '授業内容与方法' section to a smaller callout box at the bottom left. A third red arrow points from the '授業計画' (Classroom Schedule) section to a callout box at the bottom right.

**授業内容与方法**

In this class, students are expected to improve 3 skills of English in various communicative settings. The activities for each skill include the following.

SPEAKING: Discussions with a partner or group members, presentations on various topics.

READING: Reading a variety of essays on contemporary issues.

LISTENING: Listening to various aural materials such as daily conversations and university lectures.

WRITING: Writing short essays in various genres based on on-line search.

注1：本講義ではWebClassとZOOMを用いて遠隔で授業を予定しています。初回の講義の前日にZOOMのミーティング情報をWebClassで提示し、受講生にメールで送付します。  
 注2：本講義で使用する教科書は『Impact 2A』です。  
 注3：初回の講義はZOOMで行います。  
 注4：本クラスは国際地域創造学部指定クラスです。

**授業計画**

注意：このクラスでは他のクラスと異なる教科書を用います（教科書タイトル：Impact 1A）。教科書購入の際には十分注意してください。初回の講義（イントロダクション）はZOOMで行います。

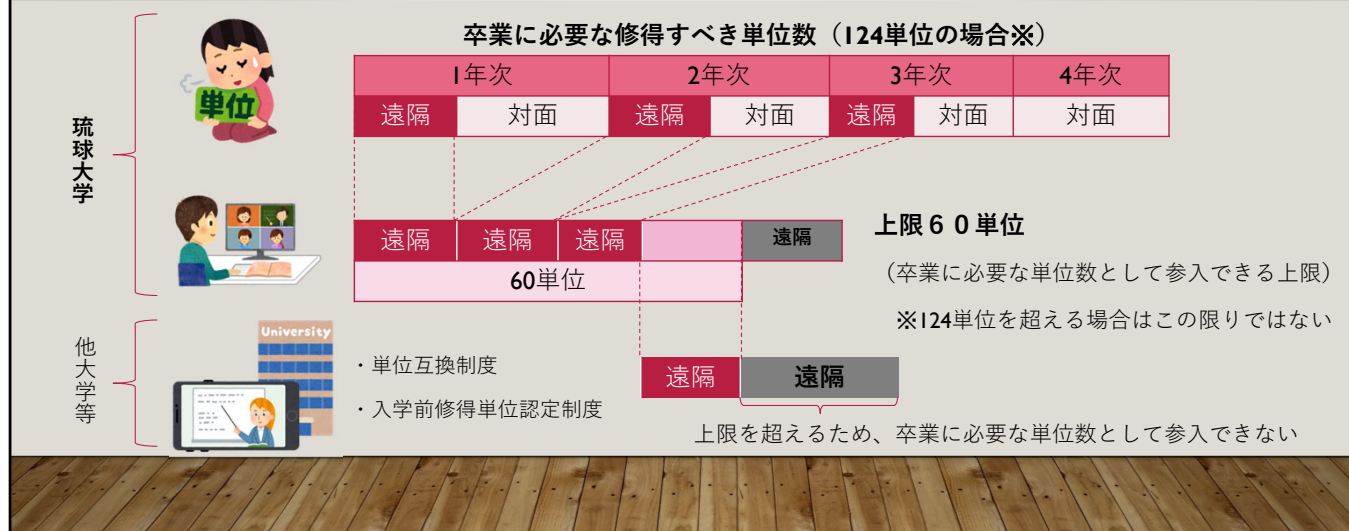
※実施方法についての記載箇所  
 「授業内容与方法」「授業計画」「メッセージ」など

授業を受講する際に、授業がどの方法で実施されるかについては、シラバスで確認することができます。

「授業内容与方法」「授業計画」「メッセージ」などに記載されています。

シラバスは、教務情報システムのログインページのシラバス検索から検索することができます。

### 3. 卒業要件に算入できる遠隔授業は60単位が上限



また、遠隔授業を履修し、単位を修得するにあたり、次の注意があります。

学生は、入学してから卒業するまでに、何年次・何学期に、どの科目を、何単位を履修するかを計画し、卒業に必要な単位を修得します。

遠隔授業で実施されている授業科目の単位で、卒業に必要な単位に算入できる数は60単位が上限となります。

また、単位互換制度や入学前修得単位認定制度により、他大学等において遠隔授業で実施されている授業により単位を修得した場合は、本学において遠隔授業を履修したとみなされ、60単位の上限に算入されますので、履修計画を立てる際には、注意が必要です。



## 4. 「遠隔授業」の確認方法

### 授業時間配当表

琉球大学 教務情報

トップページ | 教務情報(学生向け) | 教務情報(教員向け) | 教務情報(システム向け)

授業時間配当表【年度一覧】

学部生用

【法学部】(法学部) 遠隔授業要否(上)履修単位数

【法学部】(法学部) 遠隔授業要否(下)履修単位数

ここに○がついてる科目

講義コード	科目番号	科目名	単位	週時間	必修	所属	担当教員名	総人数	登録人数	受講年次	曜日	講義	遠隔授業	授業	期間	履修期間登録	備考
20487901	法字101	基礎演習Ⅰ(前期)	2	0-2	必	法	徳田博人	1	50	1-4	火	3	O	法字111	半年	O	
0000	00	00000000	0	00	0	0	0000	0	00	0	0	0	00	00	10		

どの科目が遠隔授業に該当するかの確認は、授業時間配当表に記載されています。授業時間配当表は、教務情報ホームページのトップページから、履修する年度の授業配当表で確認できます。

## 令和2～4年度に実施された遠隔授業の特例措置

---

令和2年度～令和4年度に遠隔授業により修得した単位

「感染症や災害の発生等の非常時における特例的な措置」により、卒業要件上は**対面授業**として取り扱う。

なお、本学の令和2年度～令和4年度に、全ての授業回数または半数以上の授業回数を遠隔授業により実施された授業科目を履修し、修得した単位については、「感染症や災害の発生等の非常時における特例的な措置」により、卒業要件上は対面授業として取り扱います。

## 5. 遠隔授業を受けるにあたって事前準備と注意事項



### 遠隔授業を受けるにあたって

1. 遠隔授業の情報を得るためのツール及び授業に関する情報
2. 遠隔授業で使用する学習支援ツール
3. 遠隔授業を受講する準備
4. 遠隔授業に適した情報端末について
5. 遠隔授業の受講方法
6. 注意事項
7. その他

遠隔授業をうけるために、本学で使用する学習支援ツールの紹介や操作マニュアルや、  
遠隔授業を受講する事前準備について、教務情報ホームページに掲載しています。

教務情報ホームページのトップ画面の「遠隔授業の受講」で、受講にあたり注意  
する事項を確認することができます。



# University of the Ryukyus

以上で説明を終わります。